

(2) 岐阜県立土岐商業高等学校における実践

<授業実践>

①授業実践に向けての構え

昨年度の課題をふまえ、今年度はさらにコミュニケーション型な授業を目指して授業を展開した。特に、年度始めの打ち合わせにより、4領域のバランスに配慮しながらもあえて「スピーキング」を前面に出した授業を計画し、実施するよう意識した。また、1年生においては、毎週1時間実施しているALTとのチームティーチングの拡充を目指し、より活発で効果的な授業展開を心がけた。

②第1回授業交流研究会

【日時】 平成16年7月5日(金)

【公開授業】

- ・ 単元名 Powwow English Course II (BUN-EIDO) Lesson 7 Why did the dinosaurs disappear?
- ・ 授業学校・学級 岐阜県立土岐商業高等学校 3年G組(国際会計科)
- ・ 主な提案内容

英語に対する関心が高く、海外研修等で多くの刺激を受けてきたクラスでの授業である。進捗の関係で身に付けたい文法事項が「仮定法」であったため、幾分無理やりコミュニケーション活動を仕組む形になってしまったが、生徒たちは活発な活動を展開してくれた。ただ、仮定法を日常の表現に結びつけるということが難しく、連続したコミュニケーション活動に結びつけることができなかつた点が惜まれる。



【授業研究会】

- ・ 文法事項はよく理解できていたが、授業の展開に無理があった。
- ・ 生徒がコミュニケーション活動に慣れているようだった。
- ・ もっとクラスルームイングリッシュを用いた方がよい。

③第2回授業交流研究会

【日時】 平成16年12月7日(火)

【公開授業】

- ・ 単元名 Location 2 (Speak Up プリント)
- ・ 授業学校・学級 岐阜県立土岐商業高等学校 1年G組(国際会計科)
- ・ 主な提案内容

本校では1年生の英語I 4単位のうち1単位をSpeak Up というALTとのチームティーチングに充てている。教室もLL教室を使用し、音声、映像等も用いながら、「聞くこと」、「話すこと」を主に目的とした1時間である。手づくりのプリント教材使用しているが、いわゆるワンショットの授業ではなく、1年を通した計画に沿って実施している。本時は前時の“Location 1”に続く“Location 2”



である。ある建物の中での位置の表し方を学習する。これを踏まえて次回からは建物外、例

えば街中での方向，方角に関する表現を学んでいく。

【授業研究会】

- ・ 教師の発音，表現が素晴らしく生徒により刺激になっている。
- ・ 中学校で教えた表現を生徒が使っていて嬉しかった。
- ・ 活動が若干難解で，全ての生徒が理解できていなかった。

＜グローバル・スタンダードによる英語力分析調査＞

TOEFL-ITP 実施 【日時】 平成 16 年 11 月 4 日（木）

昨年度も受検した国際会計科の 2 年生と 3 年生を対象に TOEFL-ITP を実施した。平均点も個々のスコアも昨年と概ね大差なかった。そんな中で特徴的だったのは，海外研修を控えた 2 年生の上位者が伸びていたこと，進学コースを選択し文法事項をしっかり学んだ 3 年生が伸びていたことである。問題の性質上，聞く力だけでなく基本的な文法事項の重要性と語彙力をつける必要性を再認識させられた。

＜学習環境の充実＞

①雑誌，英字新聞の購入

国際会計科のクラス用に，今年度は『MAINICHI WEEKLY』を設置し購読した。また，『ENGLISH JOURNAL』を購読して授業で利用するなどした。ESS 部の活動においても上記新聞，雑誌を活用した。今後，視聴覚教材として DVD を購入する予定である。

②外部講師招聘

【日時】平成 16 年 10 月 27 日（水） 2 年 G 組（国際会計科）海外研修事前学習①

11 月末よりオーストラリア研修に出かける国際会計科 2 年生を対象に事前学習を行った。名古屋商科大学より講師を招き，オーストラリア英語の特徴・特性の講座と日常会話の講座を 1 時間ずつ行った。クラスを 2 分割して少人数で学べ，研修に向けてよい刺激にもなった。



【日時】平成 16 年 11 月 10 日（水） 2 年 G 組（国際会計科）海外研修事前学習②

同じく 2 年国際会計科を対象に 1 回目とほぼ同様に事前研修を実施した。



<成果と課題>

成 果

- はっきりとテーマを「話すこと」に定めたために、昨年より具体的な授業計画が立てられた。
- 日常より「話すこと」を意識した授業展開が工夫できた。
- 中学校、高等学校の指導目標、実情を昨年以上に理解できた。
- 中学校の緻密な指導計画、指導上の細やかな配慮に多くを学んだ。
- 外部講師による講座が充実しており、効果的な研修事前学習ができた。
- 中学校での既習事項に上積みすることを念頭においた授業づくり等、教材研究や学習形態の工夫、改善に役立った。

課 題

- 全般的に不足がちな語彙力，系統だった文法力をどう補っていくか。
- 暗記を苦手とする生徒が増加傾向にあるが，いかに対処していくか。
- 英語に限らず，一般常識の不足をどう補うか。（国語科等との連携など）